

飛行時間世界最速を記録した青年飛行士

飯沼 正明(いいぬま まさあき)

豊科 細萱 出身

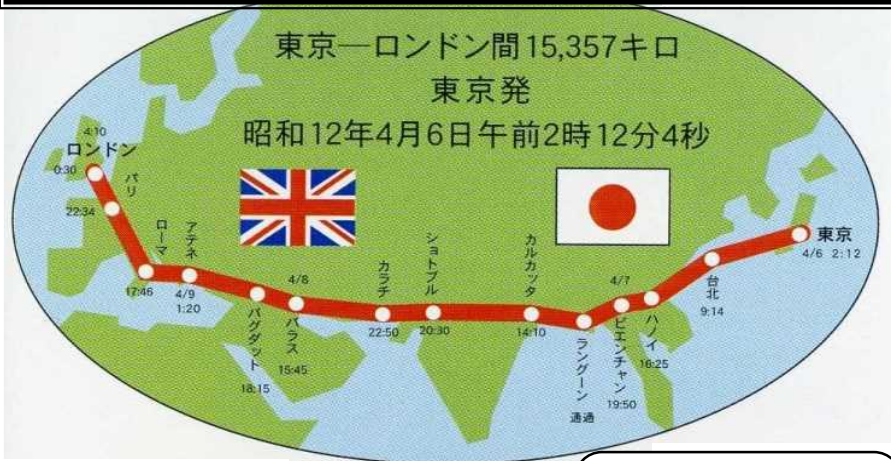
〈飯沼が活躍した時代〉 1912(大正元)年~1941(昭和16)年 享年 29歳

明治	大正	昭和	16
	1	7 12	
	豊科 細萱に誕生	朝日新聞社入社	東京→ロンドン間 新記録樹立 ブノベンにて死亡

世界最速のイケメンは、合理主義者。 “急がば まわれ”



東京-ロンドン間飛行時間 世界新記録 94時間17分56秒



盛大な出発式をやらせてもらって4月2日に離陸したけれど、天候が悪くて引き返してきました。



僕の愛機
かみかぜごう
「神風号」〈純国産機〉
朝日新聞社の公募で命名

昭和12年4月2日午前1時44分、立川を離陸。最初の給油地点の台北を目指したが、九州南方洋上の天候が悪く、向かい風になって燃料の消費が激しい。台北までの燃料が無く、沖縄の那覇に降りたとしても早朝で人員が少なく世界記録を目指している神風にとってはタイムロスになってしまう。飯沼は「口之島辺りにかかる頃になると、猛烈な雨となり、おまけにまだ暗いので引き返そうと決心した。後ろの塚越機関士に、同意しないかもしれないと心配しながら『引き返そう』と怒鳴ると、待っていたというように『引き返そう!』と返事が来たので、思い切って引き返してしまった。」と「航空随想」の中で経緯を書いている。

当時の青年の心情としては、プレッシャーに圧倒されて、たとえ嵐にぶつかろうとも飛行を強行する気持ちになっても不思議ではない。少なくとも沖縄に降りて「やる気」を見せたいと思うのが自然だろう。しかし、「信州合理主義者」の飯沼はあっさり立川に戻ってきてしまった。そして、4月6日再び出発した後、東京-ロンドン間 94時間17分56秒という世界記録を樹立した。

レーダーもなく、現在地の確認方法が目視しかない時代での偉業に、世界が驚嘆した。

参考文献 「美貌なれ昭和」 深田雄介
「世紀の鳥人 飯沼正明飛行士」 飯沼飛行士記念館
「南安曇教育・飯沼飛行士と「神風」の軌跡」 飯沼久文